

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

熊本市長 (宛)

提出者

住所 熊本市南区富合町木原1330

氏名 大共電通ネットワークス株式会社  
代表取締役 西崎 友紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-358-0147

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大共電通ネットワークス株式会社
事業場の所在地	熊本市一円
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類 D-建設業 中分類08-設備工事業
②事業の規模	元請完成工事高 164,686千円
③従業員数	30名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生→収集運搬→中間処理→最終処分

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油
	排出量	1,637.38 t	6.90 t	5.92 t	0.02 t	2.46 t	2.03 t	2.27 t	1.31 t
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油
	排出量	820.00 t	3.50 t	3.00 t	0.01 t	1.25 t	1.00 t	1.10 t	0.70 t

(これまでに実施した取組)

- ・施工計画の段階で廃棄物が発生しにくい施工方法を検討する
- ・適正数量の材料積算を行い、過剰発注を防止及びユニット化製品・プレカット材の活用により、現場加工による端材の発生を抑制する
- ・発生した木くず、金属くず、コンクリートがら等は可能な限り分別回収し、再資源化率の向上を図る

【目標】

① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油
	排出量	2.00 t	13.00 t	t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

- ・施工計画の段階で廃棄物が発生しにくい施工方法を検討する
- ・適正数量の材料積算を行い、過剰発注を防止及びユニット化製品・プレカット材の活用により、現場加工による端材の発生を抑制する
- ・発生した木くず、金属くず、コンクリートがら等は可能な限り分別回収し、再資源化率の向上を図る
- ・現場責任者および作業員に対し、廃棄物の排出抑制・分別に関する教育を実施する

## 産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

① 現状	【分別している産業廃棄物の種類】 がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック、木くず、水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯、照明機器)、石綿含有産業廃棄物、廃アルカリ、廃油、建設汚泥								
		【分別に関する取組】 工事現場ごとに種類別の廃棄ボックスを設置する。							

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

② 計画	・現状の取り組みを徹底する。
---------	----------------

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度（令和6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	木くず	建設汚泥							
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
・実施していない。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	木くず	建設汚泥							
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
・実施する予定はない。									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度（令和6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	木くず	建設汚泥							
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
・実施していない。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	木くず	建設汚泥							
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
・実施する予定はない。									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・実施する予定はない。									

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

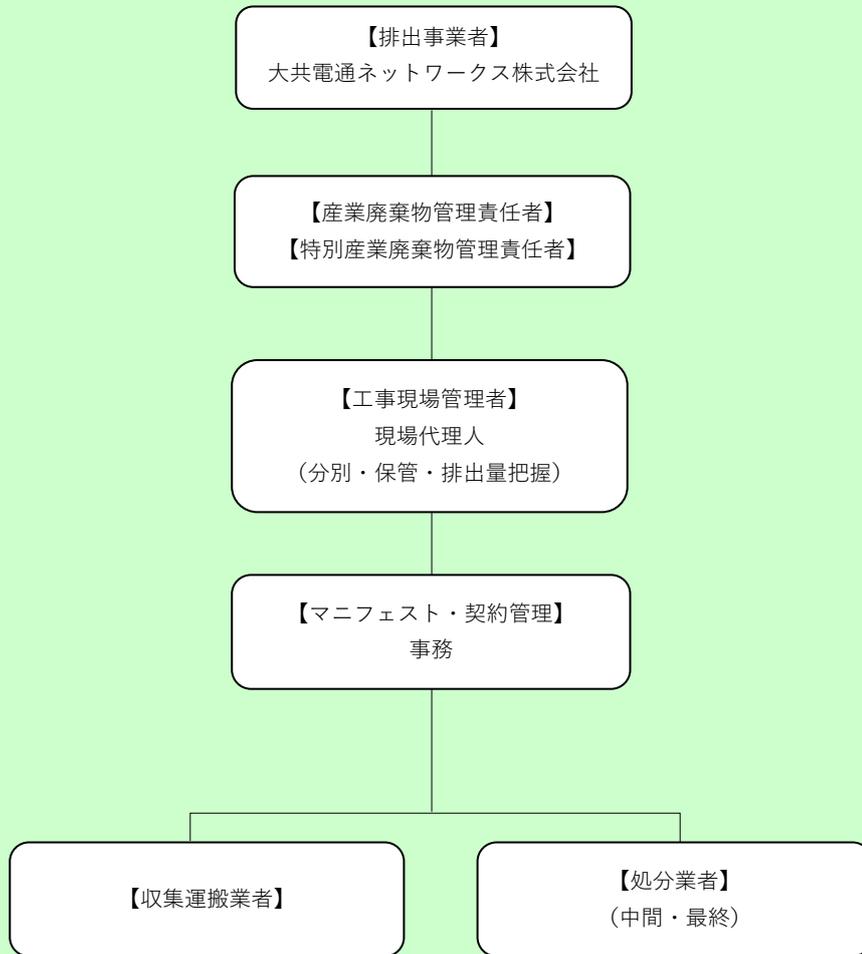
【前年度（令和6年度）実績】																
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油							
	全処理委託量	1,637.38	t	6.90	t	5.92	t	0.02	t	2.46	t	2.03	t	2.27	t	1.31
優良認定処理業者への処理委託量		t	6.90	t	5.92	t	0.02	t		t	2.03	t	2.27	t	1.31	t
再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃アルカリ	廃プラスチック	廃油							
	全処理委託量	1.04	t	26.17	t		t		t		t		t		t	
優良認定処理業者への処理委託量	1.04	t		t		t		t		t		t		t		t
再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
(これまで実施した取組)																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニフェスト伝票を適切に管理する。</li> <li>・産業廃棄物処理業者への委託は、優先的に優良認定業者へ依頼するようにしている。</li> <li>・工事現場ごとに種類別の廃棄ボックスを設置する。</li> </ul>																

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コン クリートくず	金属くず	水銀使用製 品産業廃棄 物	石綿含有産 業廃棄物	廃アルカリ	廃プラス チック	廃油	
	全処理委託量	820.00 t	3.50 t	3.00 t	0.01 t	1.25 t	1.00 t	1.10 t	0.70 t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	3.50 t	3.00 t	0.02 t	t	1.00 t	1.10 t	0.70 t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	建設汚泥							
	全処理委託量	0.50 t	13.00 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.50 t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理委託先の事業範囲等の確認及び優良認定処理業者の選定について検討する</li> <li>・委託契約の締結、マニフェスト伝票、電子マニフェストの管理を徹底する</li> </ul>										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 2 面 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 について



当社における産業廃棄物の処理は、代表者を最終責任者とし、産業廃棄物管理責任者の統括のもと、適正な分別・保管・委託管理を行っている。また、収集運搬業者および処分業者については、許可の有無を確認のうえ書面による契約を締結し、マニフェスト制度により適正処理を確認している。

産業廃棄物処理計画書(集計用シート)

提出者の名称	大共電通ネットワークス株式会社代表取締役 西崎 友紀	提出者の住所	熊本市南区富合町木原1330
事業場の名称	大共電通ネットワークス株式会社	事業場の所在地	熊本市一円
内容年度	令和 7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量  A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
がれき類	現状	1,637.38	0.00	0.00	0.00	0.00	1,637.38	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	820.00	0.00	0.00	0.00	0.00	820.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ガラス・コンクリートくず	現状	6.90	0.00	0.00	0.00	0.00	6.90	6.90	0.00	0.00	0.00	
	計画	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	3.50	3.50	0.00	0.00	0.00	
金属くず	現状	5.92	0.00	0.00	0.00	0.00	5.92	5.92	0.00	0.00	0.00	
	計画	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	
石綿含有産業廃棄物	現状	2.46	0.00	0.00	0.00	0.00	2.46	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃アルカリ	現状	2.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2.03	2.03	0.00	0.00	0.00	
	計画	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
廃プラスチック	現状	2.27	0.00	0.00	0.00	0.00	2.27	2.27	0.00	0.00	0.00	
	計画	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.10	1.10	0.00	0.00	0.00	
廃油	現状	1.31	0.00	0.00	0.00	0.00	1.31	1.31	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.70	0.70	0.00	0.00	0.00	
木くず	現状	1.04	0.00	0.00	0.00	0.00	1.04	1.04	0.00	0.00	0.00	
	計画	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
建設汚泥	現状	26.17	0.00	0.00	0.00	0.00	26.17	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	1,685.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1,685.50	19.49	0.00	0.00	0.00	
	計画	845.56	0.00	0.00	0.00	0.00	844.06	9.82	0.00	0.00	0.00	